



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月9日

上場会社名 日本石油輸送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9074 URL <https://www.jot.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 昌一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長 (氏名) 松井 克浩 (TEL)03(5496)7671
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,634	△8.4	152	△22.2	342	△23.9	219	△32.4
2020年3月期第2四半期	15,968	2.7	195	△10.3	449	12.5	324	29.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 301百万円(2.9%) 2020年3月期第2四半期 293百万円(△69.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	66.28	—
2020年3月期第2四半期	97.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	32,553	19,410	59.6
2020年3月期	33,301	19,240	57.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 19,410百万円 2020年3月期 19,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2021年3月期	—	40.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,100	△6.5	850	△34.8	1,200	△29.4	700	△37.3	211.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	3,322,935株	2020年3月期	3,322,935株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	14,910株	2020年3月期	14,866株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	3,308,047株	2020年3月期2Q	3,308,213株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会経済活動全体が大きく制約を受け、極めて厳しい状況で推移いたしました。

当社グループの事業環境につきましても、感染症の影響を受けた輸送需要の減少により、厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、従業員や関係する皆様への感染予防に万全を尽くすとともに、国民の生活や経済活動を守るインフラ企業グループとして、エネルギーや食料品等の安全・安定輸送の継続に尽力し、その社会的使命を全ういたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、輸送需要の減少等により、14,634百万円（前年同期比8.4%減）となり、営業利益は152百万円（同22.2%減）、経常利益は342百万円（同23.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は219百万円（同32.4%減）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(石油輸送事業)

石油輸送事業につきましては、感染症の影響による外出自粛等により燃料油需要が大幅に減少し、政府による緊急事態宣言の解除後も、引き続き需要が低迷したことから、売上高および営業利益は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は6,639百万円（前年同期比11.3%減）、営業損失は103百万円（前年同期は71百万円の営業利益）となりました。

(高圧ガス輸送事業)

高圧ガス輸送事業につきましては、主要顧客の運賃改定や新規輸送の獲得があったものの、感染症の影響による需要減等により、売上高は減少いたしました。一方、燃料費や人件費等の経費の減少により、営業利益は増加いたしました。

この結果、当事業における売上高は3,866百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は69百万円（前年同期は63百万円の営業損失）となりました。

(化成品・コンテナ輸送事業)

化成品輸送事業につきましては、収益の維持に努めましたが、感染症の影響等による国内外の需要の減少や主要顧客の販売減により、売上高は減少いたしました。

コンテナ輸送事業につきましては、工業品や清涼飲料水等を中心に、感染症の影響により需要が減少したため、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は4,025百万円（前年同期比8.7%減）、営業利益は134百万円（同5.4%減）となりました。

(その他事業)

太陽光発電事業につきましては、売上高は102百万円（前年同期比3.3%減）となりましたが、点検費等の経費の減少により、営業利益は52百万円（同13.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は32,553百万円となり、前連結会計年度末に比べ747百万円減少いたしました。

流動資産は5,677百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,034百万円減少いたしました。これは季節変動により受取手形及び売掛金が減少したことと固定資産の取得により現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は26,875百万円となり、前連結会計年度末に比べ287百万円増加いたしました。これは主に機械装置及び運搬具で減価償却が進捗したものの、有形固定資産その他の取得および投資有価証券が時価変動により増加したことによるものであります。

負債は13,143百万円となり、前連結会計年度末に比べ916百万円減少いたしました。これは季節変動による支払手形及び買掛金の減少と、法人税の支払により未払法人税等が減少したことに加え、リース債務の返済進捗によりリース債務が減少したことによるものであります。純資産は19,410百万円となり、前連結会計年度末に比べ169百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことに加え、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.8ポイント上昇し、59.6%となりました。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ622百万円の資金支出（前年同期は114百万円の資金収入）となり、1,923百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、1,596百万円（前年同期は1,778百万円の資金収入）となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益324百万円、減価償却費1,911百万円の計上と法人税等の支払386百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、1,747百万円（前年同期は1,064百万円の資金支出）となりました。これは主として建物および構築物の取得により1,749百万円を支出したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は、470百万円（前年同期は594百万円の資金支出）となりました。これは主としてセール・アンド・リースバックの収入600百万円があったものの、ファイナンス・リース債務954百万円を返済し、配当金132百万円の支払があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済は、感染症対策と社会経済活動の両立を図る動きが広がっていくと思われませんが、感染症の終息が見通せないなか、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループの事業環境につきましても、輸送需要の回復には時間を要するとみられ、厳しい状況で推移するものと思われまます。

感染症の影響が継続している厳しい状況のもと、当社グループは、顧客から選ばれる企業グループを目指し、引き続きエネルギーや食料品等の安全・安定輸送に尽力してまいります。また、事業環境の変化に対応すべく、既存事業における着実な収益基盤の確立と成長分野における事業領域の拡大・収益力の強化を図ることで、企業体質の一層の強靱化に努めてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、2020年9月30日公表の業績予想値より変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,546	1,923
受取手形及び売掛金	3,631	3,105
その他	534	648
流動資産合計	6,712	5,677
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	4,123	3,775
コンテナ(純額)	2,718	2,535
土地	5,828	5,828
リース資産(純額)	6,430	6,281
その他(純額)	2,264	3,098
有形固定資産合計	21,366	21,519
無形固定資産		
ソフトウェア	203	178
その他	18	34
無形固定資産合計	221	212
投資その他の資産		
投資有価証券	3,607	3,737
その他	1,392	1,405
投資その他の資産合計	5,000	5,143
固定資産合計	26,588	26,875
資産合計	33,301	32,553
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,785	1,426
短期借入金	451	467
未払法人税等	396	167
賞与引当金	758	710
役員賞与引当金	111	46
その他	3,219	3,176
流動負債合計	6,722	5,994
固定負債		
リース債務	4,649	4,397
修繕引当金	295	292
退職給付に係る負債	1,657	1,699
その他	735	758
固定負債合計	7,338	7,148
負債合計	14,060	13,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,661	1,661
資本剰余金	290	290
利益剰余金	17,263	17,350
自己株式	△36	△36
株主資本合計	19,179	19,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	245	297
繰延ヘッジ損益	△3	△1
退職給付に係る調整累計額	△181	△152
その他の包括利益累計額合計	61	143
純資産合計	19,240	19,410
負債純資産合計	33,301	32,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	15,968	14,634
売上原価	14,705	13,434
売上総利益	1,262	1,200
販売費及び一般管理費	1,067	1,048
営業利益	195	152
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	130	70
固定資産賃貸料	144	155
固定資産売却益	28	14
持分法による投資利益	37	37
雑収入	31	16
営業外収益合計	372	293
営業外費用		
支払利息	36	36
固定資産賃貸費用	42	44
固定資産除売却損	20	14
雑損失	20	7
営業外費用合計	118	103
経常利益	449	342
特別利益		
雇用調整助成金	—	54
固定資産売却益	71	—
特別利益合計	71	54
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	—	65
固定資産除売却損	19	7
特別損失合計	19	72
税金等調整前四半期純利益	501	324
法人税等	177	104
四半期純利益	324	219
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	324	219

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	324	219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	56
繰延ヘッジ損益	△0	1
退職給付に係る調整額	20	29
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△4
その他の包括利益合計	△30	82
四半期包括利益	293	301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	293	301
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	501	324
減価償却費	1,881	1,911
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13	△48
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△51	△64
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	59	84
修繕引当金の増減額 (△は減少)	34	△2
受取利息及び受取配当金	△130	△70
支払利息	36	36
持分法による投資損益 (△は益)	△37	△37
固定資産除売却損益 (△は益)	△79	4
雇用調整助成金	—	△54
新型コロナウイルス感染症による損失	—	65
売上債権の増減額 (△は増加)	380	526
リース投資資産の増減額 (△は増加)	18	8
仕入債務の増減額 (△は減少)	△310	△358
その他	△373	△360
小計	1,913	1,964
利息及び配当金の受取額	130	70
利息の支払額	△35	△39
雇用調整助成金の受取額	—	53
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	—	△65
法人税等の支払額	△230	△386
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,778	1,596
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,020	△1,749
有形固定資産の売却による収入	141	45
投資有価証券の取得による支出	△19	△19
貸付金の回収による収入	1	1
その他	△167	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,064	△1,747
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△146	16
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△897	△954
セール・アンド・リースバックによる収入	581	600
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△131	△132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△594	△470
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	114	△622
現金及び現金同等物の期首残高	2,046	2,546
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,161	1,923

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油輸送	高压ガス輸 送	化成品・コ ンテナ輸送	その他 (注)1	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,488	3,965	4,408	105	15,968	—	15,968
セグメント間の内部売 上高又は振替高	230	2	41	—	274	△274	—
計	7,719	3,967	4,449	105	16,242	△274	15,968
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	71	△63	141	46	195	—	195

(注)1 報告セグメントの「その他」は、太陽光発電事業であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油輸送	高压ガス輸 送	化成品・コ ンテナ輸送	その他 (注)1	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,639	3,866	4,025	102	14,634	—	14,634
セグメント間の内部売 上高又は振替高	189	2	44	—	236	△236	—
計	6,829	3,868	4,070	102	14,871	△236	14,634
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	△103	69	134	52	152	—	152

(注)1 報告セグメントの「その他」は、太陽光発電事業であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
該当事項はありません。